

教師のlearning stylesは teaching stylesに反映されます。「何をどう教えてもよく覚える」生徒は、教師と learning stylesが似ているのではないのでしょうか？教師が「困った子だ」と思う生徒は、教師と learning stylesが異なっている学習者ではないのでしょうか？

	Visual 	Auditory 	Kinesthetic 
どんな人？	<ul style="list-style-type: none"> -書き留めるとよく覚えられ -頭の中に絵を思い浮かべることができる -静かな場所で勉強がはかどる -地図、表、グラフを容易に理解できる -テストのとき答のあるページが絵の用に浮かび、答も見える 	<ul style="list-style-type: none"> -読むとき頭の中で言葉を聞く、または声を出して読む -指示を自分で読むより、誰かにやり方を教えてもらうほうが好き -下を向いていても外を見なくても人の話の聞いて流れを理解できる -誰かと勉強するとよく覚えていられる 	<ul style="list-style-type: none"> -指示を読んだり聞いたりするのは好きではなく、すぐにやり始める -音楽が鳴っていると勉強がはかどる -机に向かってじっと座って勉強するのは苦手だ -ノートも机も整理できていないが、どこに何があるかわかる -数えるとき指を使い、読むときに口が動く
この学習スタイルの人に適した英語学習法	<ul style="list-style-type: none"> -話している人を見る -書き留める -静かな場所で勉強する -ノートをとる -テキストの重要な部分をマーカーでハイライトしたり、付箋をつける -勉強の目標を書いて、見えるところに貼る -単語カードを使う 	<ul style="list-style-type: none"> -誰かと一緒に勉強して、読んでいることを耳からも聞くようにする -ひとりで勉強するときは音読する -図書館やテスト中は、頭の中で自分の声を聞くようにする -講義や講演を録音し、あとで聞いてサマライズする -単語カードは声を出して読んで、裏返して意味を確認する -勉強する前に「○時までこの章を読もう」のように目標を声に出して言う 	<ul style="list-style-type: none"> -暗記するときは歩き回ったり動きながら声を出す -テキストは、目次を読み、見出しや挿絵やグラフを見て、全体像を掴んでから読み始める -自宅では、音楽をかけ、寝転んで勉強する -エアロバイクをこぎながら本を読む -30分勉強したら5分休憩を取る。休憩中に電話したりテレビを見たりゲームをしてはいけない -新しい情報を覚えるとき、目を閉じて空中または机の上に指で書いてみる
この学習スタイルの生徒に適した英語授業方法	<ul style="list-style-type: none"> -絵カードを使う -黙読の時間を設ける -ノートをとりたい生徒に時間を与える -リスニングアクティビティのあと、スクリプトを読む時間を設ける -指示を口頭で言うだけでなく、ボードに書く。書いた指示を渡す。 -テキストに書き込むことを奨励する -Eyes on me.を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> -ペアワークの時間を設ける -ペアや小グループで話し合う時間を設ける -口頭による指示を明確にする -書く宿題だけでなく、聞く宿題を与える -リスニングアクティビティの前に、予測する答を声に出して言う時間を設ける -Silent repeatingをさせる 	<ul style="list-style-type: none"> -1つのアクティビティの時間を短く設定し、切り替えのときに、身体を動かさせる -教材を取ってくる、ボードの文字を消す等の係をさせる -ひとの迷惑にならない限り身体を動かしても良いことにする -新出言語材料を、身体を動かして感じさせるアクティビティにする。例：ダイアログならロールプレイ、文法ならば単語カードを実際に並べて文を組み立てる、vocabularyは、絵カードと単語カードのマッチング・ゲームにする



We can zero in on the students' needs by understanding their learning channel preferences and creating lessons that celebrate and activate different learners.

Setsuko Toyama